

海の冒険シリーズ③ キッズ 海のたんけんたい 同窓会

1. 参加者

募集人数	応募者数	参加決定数	参加者数
	38	38	参加者人数38（奈良県8名 滋賀県8名 福井県7名 京都府4名 千葉県4名 大阪府2名 愛知3名 石川県2名 千葉県4名）

2. 事業内容（概要）

◆事業のねらい

- ・ 平成23年度教育事業の一つ「海の冒険シリーズ① キッズ 海のたんけんたい」の参加者が再び一堂に会し、共に活動することを通して当時の学びを再確認し、さらなる交流を深める。
- ・ 保護者会を開催し、事業前後の子どもたちの様子を交流しあうとともに、今後の事業展開の参考とする。
- ・ 事業を企画・運営することにより、実践力を高め、後の「若狭パーティー」での実践へとつなげる。

◆期日・期間

2011年12月10日（土）～2011年12月11日（日）1泊2日

◆後援・協力団体

なし

◆参加者分析

- ・ 全体的に参加希望が多く、子どもだけの参加者もあり、22名中14名参加した。
- ・ 事情があり、不参加の場合でも、参加希望は強かった。
- ・ 保護者同伴で参加する家庭もあり、関心の高さがうかがえる。

◆企画のポイント

◇プログラム

月 日	内 容	宿泊場所
12月10日（土）	はじまりのつどい アイスブレイキング 館内宝探し 貝殻ろうそく作り キャンドルサービス	国立若狭湾青少年自然の家
12月11日（日）	保護者会（子どもは松ぼっくりツリー作り） 思い出スライド クリスマスケーキ作り おわりのつどい	

- * 事業後に再度集まる機会をもうけて、参加者の成長や参加者同士の交流を深める企画を考えている。また、保護者が参加し、家庭での参加者の変容や保護者の意見を聞く形は、全国的にも大変珍しく、意義のある事業であると考えます。

プログラム開発事業

◆運営のポイント

- ・ 事業当時を振り返ったり、参加者の交流の深化を図ったりするような活動を多く取り入れた。
- ・ 保護者会を設定し、保護者からの意見を聞き、参加者の成長の様子をとらえるようにした。
- ・ プログラムの企画には、ボランティアリーダーが主体となって企画し、リーダーの実践力の向上を図った。

◆安全管理のポイント

- ・ 活動の際には、班に複数のボランティアリーダーを配置し、参加者の指導にあたった。
- ・ 無線を使い、細かな連絡が各リーダーに全体に伝わるようにした。

3. アンケート結果

(1) アンケート

子ども	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	100%	0%	0%	0%
この事業の活動はどうでしたか	83%	17%	0%	0%
この事業の進め方はどうでしたか	66%	17%	17%	0%

大人	4	3	2	1
事業全体をとおしてどうでしたか	86%	14%	0%	0%
この事業の活動はどうでしたか	75%	25%	0%	0%
この事業の進め方はどうでしたか	75%	25%	0%	0%

4満足 3やや満足 2やや不満 1不満

(2) 参加者の声

- ・ 楽しいことがいろいろできてよかった。特にケーキ作りが楽しかった。
- ・ 貝殻でろうそくを作ることができたのはよい経験だった。
- ・ 大変有意義な事業であった。子どもがいろんな場面で自信がついていると思った。

4. 成果と課題

(1) 成果

- ・ どの活動も楽しんで活動をしている参加者の様子から、久しぶりに再会したボランティア、仲間との時間を大切に過ごす姿がうかがえた。
- ・ ボランティアの案を主体とした企画立案を行い、準備、指導を通して、ボランティアの実践力の向上が図れた。
- ・ 保護者会の場合、堅苦しくならないようにという配慮から、ワンコイン飲食物を準備して設定した。結果、子どもへの思いや保護者自身の姿勢など様々な視点での意見を聞くことができた。また、子ども達のつながりを通して、保護者同士の親睦を深め、今後のつながりを密にしていく様子が見られた。具体的には6月に「同窓会の同窓会」という形で、保護者の中から自主的な活動が企画された。
- ・ 保護者会に、ボランティアリーダーの今後の実践に生かすために、ボランティアリーダーの代表にも参加してもらい、保護者の考えをきくことができる機会となった。

(2) 課題

- ・ プログラムの内容が盛りだくさんとなり、内容設定の検討が必要である。
- ・ 参加者の当日キャンセル、変更や場所の変更等、連絡を密にする組織作りを確立する。
- ・ 海の活動がなく、夏の活動の延長とはならないので、ねらいでのつながりが乏しい。

プログラム開発事業

(3) 参加者の声

- ・ 夏に会った友達とまた会えて、楽しかった。来年も来たい。
- ・ 夏の時は不安な表情だったが、帰ってきたときはとても大きく成長し、自分に自信をつけたように思う。同窓会にも参加したい気持ちがあり、今回参加した。
- ・ 家庭とは違った子どもの表情を見ることができた。家の中では、どうしても、兄弟関係の中でしかられる場面が多いので、キッズ海のたんけんたいのメンバーの中で、伸び伸び自分らしく行動している子どもの姿を見せていただきました。

5. 活動の様子

